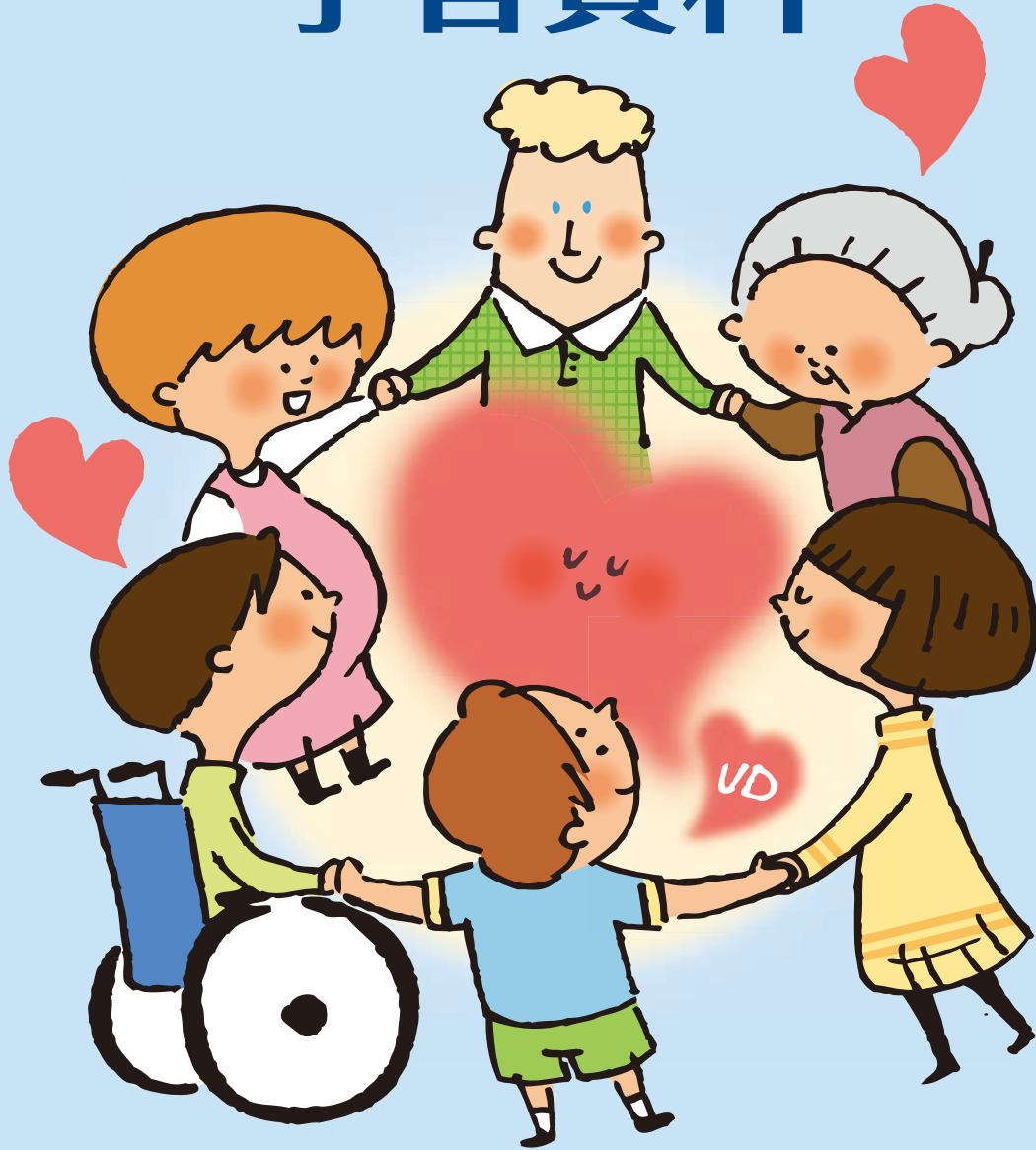
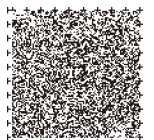


# ユニバーサルデザイン 学習資料



## 目次

1 はじめに	P1
2 ユニバーサルデザイン基礎知識	P1
3 いろいろな人が感じている不自由さ・不便さ	P4
4 いろいろなユニバーサルデザイン	P6
5 ユニバーサル社会にするために	P10



# 1 はじめに



県では、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた「ユニバーサル社会（共生社会）」の実現を目指しています。

ユニバーサル社会の基礎となるのは、すべての人のためにという「意識」と、他人を思いやり、お互いに助け合おうとする「こころ」です。

ユニバーサル社会を作り上げ、支えていくのはすべての県民ですが、特に未来を担う児童・生徒が、このような意識、精神をもつことは非常に重要であると考えます。

この冊子は、小学校・中学校の教員向けに作成しました。

総合的な学習の時間等において、ユニバーサルデザインの学習を採り入れていただければ幸いです。

## 2 ユニバーサルデザイン基礎知識



### (1) ユニバーサルデザインとは

すべての人のためのデザインを意味します。年齢、性別、個人の能力差、国籍など、さまざまな特性や違いをこえて、すべての人が利用しやすい、すべての人に配慮したまちづくり、ものづくりなどを行うという考え方です。1980年代にアメリカのロナルド・メイス博士（1941～1998年）が提唱しました。

#### ユニバーサルデザインの7つの原則

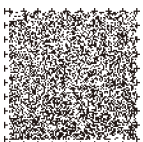
- ① だれもが同じように使いこなせること
- ② その人の状態にあわせて柔軟に使えること
- ③ 使い方が簡単なこと
- ④ わかりやすく理解しやすいこと
- ⑤ 安全・安心であること
- ⑥ 少ない力で楽に使えること
- ⑦ 使いやすい大きさや広さがあること



### (2) バリアフリーとユニバーサルデザインの違い

バリアフリーは、お年寄りや障がいのある人のために、いまあるバリア（障壁）をなくすことです。玄関の段差をなくしたり、スロープを付けるなど、あとから手を加えることを意味します。

一方、ユニバーサルデザインは、バリアフリーを一步進め、お年寄りや障がいのある人はもちろん、すべての人が使いやすいように、はじめから考えてデザインすることを基本とします。



## バリアフリー

あとからバリアを取り除く

特定の人  
(高齢者、障がいのある人)

そもそもバリアがある

健康な大人と同じように

## ユニバーサルデザイン

はじめからバリアを作らない

すべての人  
(できるだけ多くの人)

そもそもバリアがない

だれもが使えるように

考え方

対象者

バリア

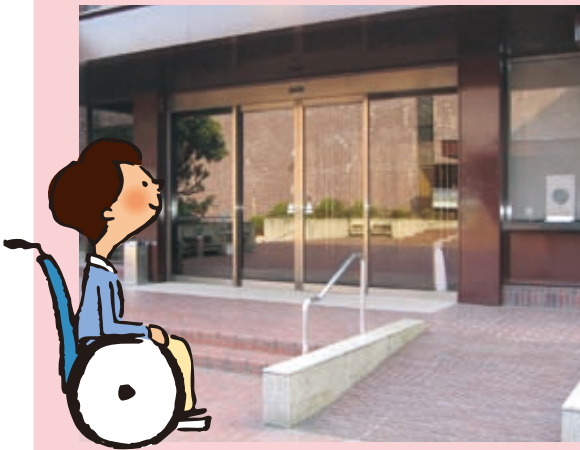
整備度

共通点

暮らしやすい社会をつくろうという考え方



## バリアフリー



車イスの利用者はスロープを使って  
脇を通らなければ中に入れません

バリアフリーと  
ユニバーサルデザインの  
違いを考えよう

## ユニバーサルデザイン



車イスの利用者だけでなく  
ベビーカーや重い荷物を持った人など、  
誰にでも便利に利用できます。

今あるバリアは、バリアフリーの考え方で取り除き、今から新しくつくるものは、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れることが大切です。



### (3) みんなに関係のあることです

私たちは、たとえばケガをして手足が不自由になったときに、まちやものの不便さを「一時的に」実感することがあります。

しかし、歳をとらない人はいません。

大分県では、2015年には県民の3人に1人が65歳以上のお年寄りになると予想されます。だれもが歳をとって、だれもが身体の不自由さを感じるようになります。

「不便・不都合な状況」はだれもが普通に経験するのです。

#### 「不便・不都合な状況」とは…

年をとると…

小さな文字が見えにくいなあ  
小さな音が聞こえにくいなあ

妊娠すると…

足元が見えにくいので階段はこわいわ

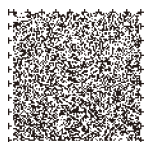
赤ちゃんができる…

ベビーカーには段差がづらいなあ

足を怪我すると…

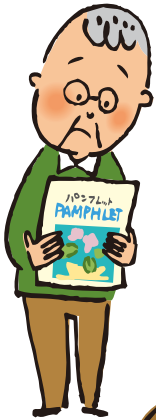
和式便所はちょっと無理だなあ

ユニバーサルデザインは、相手の立場に立った相互理解の上に成り立ちます。不自由さを感じている人たちの生活をイメージすることからはじまるユニバーサルデザインは、少子高齢化を迎える社会にとって重要な考え方と言えます。



# 3 いろいろな人が感じている不自由さ・不便さ. 🙄 🙄

児童・生徒に「なぜそのように感じるのか」を想像してもらってください。



## お年寄り

「横文字は苦手です。」  
「小さな段差でもつまづきやすくなります。」  
「疲れやすく、長時間は歩けません。」

## 車いす使用者

「段差があるとひとりでは移動できません。」  
「背の高い自動販売機は使えません。」  
「車いすマークのついた駐車場でしか、車から乗り降りできません。」



## 目の不自由な人

「点字ブロックの上に自転車があると危ないです。」  
「あれ、それ、あっちと言われても分かりません。」  
「側溝のフタの編目が大きいと危ないことがあります。」

## 耳の不自由な人

「後ろから声をかけられても分かりません。」  
「病院や市役所の窓口で困ることがあります。」  
「冷たい人だと誤解されることがあります。」



## 内部障がいのある人

「疲れやすいです。」  
「私たちが障がい者であるということに気づいてもらえません。」  
「電車やバスの優先席に座りにくいです。」

## 妊娠中の人

「階段を下りるのが怖いです。」  
「和式トイレは使えません。」  
「重い荷物を持つのは不安です。」



## ベビーカーを押している人

「階段は使えません。」  
「段差があると困ります。」  
「授乳室やおむつ替えコーナーのない  
お店には行きたくないです。」



※その他に、色弱者、知的障がい者、精神障がい者、外国人なども不便を感じています。  
詳しくは県が作成したUD実践のための手引きをご覧ください。ホームページからダウンロードできます。

### 「街中での案内・介助の手引き」

<http://www.pref.oita.jp/12030/ud/new/manual/annai/>

### 「わかりやすい印刷物のつくりかた」

<http://www.pref.oita.jp/12030/ud/new/manual/booklet/>



男の人



女の人



子供



お年寄り



力の強い人



力の弱い人



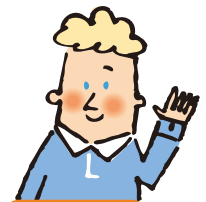
妊娠している人



ベビーカーを  
押している人



障がいのある人



外国人



足をケガ  
している人



手をケガ  
している人

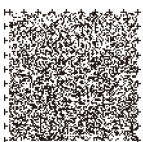


右ききの人



左ききの人

ユニバーサルデザインは、いろいろな立場の人がいるという「気づき」からスタートし、より多くの人のための「便利」や「快適」を考えることで生まれます。





## もの

### トランプ



数字が4か所を書いてあるので、左利きの人も楽しめるようになっています。

### 携帯電話



小さなボタンではなく、文字の大きなタッチパネルで操作します。だれも見やすいです。

### 点字学習教材



目の不自由な人だけでなく、だれもが点字を学びやすいように工夫されています。

### 自動販売機



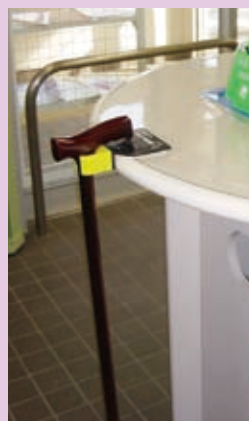
背が低くなっています。みんなが使いやすいです。

### ななめドラム式洗濯機

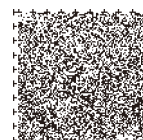


洗濯槽が斜めになっています。車いす使用者、お年寄り、小さな子どもも使いやすいです。

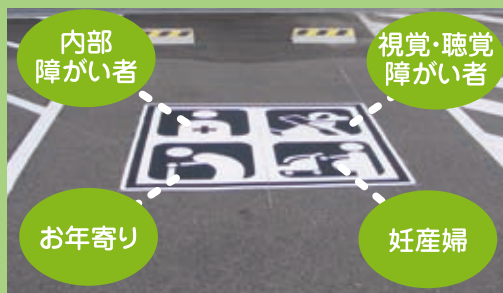
### 杖かけ



杖はもちろん傘をかけておくこともできます。だれもが便利です。



## 思いやり駐車区画



内部障がい者、視覚・聴覚障がい者、お年寄り、妊婦・子ども連れのための優先区画です。安心して目的地にたどり着けるよう、建物のそばに整備されています。

## 波形手すり



握るときに手首の角度が自然になるため、力が入れやすくなっています。

## 腰掛け



UDはお金をかけなくてもちょっとした思いやりで実践できます。

## 多目的トイレ



だれもが使える「みんなのトイレ」です。

## ATM

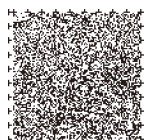
車いす使用者が利用できるよう足元が空いています。また、操作盤には点字も付いています。



## 立体駐車場



広くて段差がないため、ベビーカーを押す人も車いす使用者も利用できます。





## 制度・仕組み

### だれもが参加する祭り



健常者と車いす使用者と一緒に  
なって御輿を担ぎます。

### だれもが利用する農園



ベビーカーを押す人も車いす使用  
者も気軽に楽しめます。



## サービス・情報

### 案内サイン



何を伝えようとしているのか、  
外国人や小さな子どもでも理解  
できます。

### 多言語案内看板



#### 案内所

问讯处 Information  
服务处 안내소



#### ここで喫煙はできません

请勿吸烟 No Smoking  
請勿吸煙 흡연하지 말아주세요

外国人旅行者も安心です。

(アナウンス)  
右側に便座が  
あります...

### 音声案内付きトイレ



トイレの中のどこに何があるのかを  
音声で案内します。

### 耳マーク表示板と筆談ボード



耳の不自由な人と筆談  
でコミュニケーション  
をとることができます。



# こころ

## 視覚障がい者へ



白杖を上にあげている人がいたら、「どうしましたか?」と声をかける。

## 聴覚障がい者へ



携帯電話のメール機能でコミュニケーション。

## 車いす使用者へ

エレベーターのボタンを押す。  
(押したまま車いす使用者がエレベーターに入るまで待つ)



## 妊婦さんへ



電車の中で席を譲る。

## ベビーカーを押している人へ



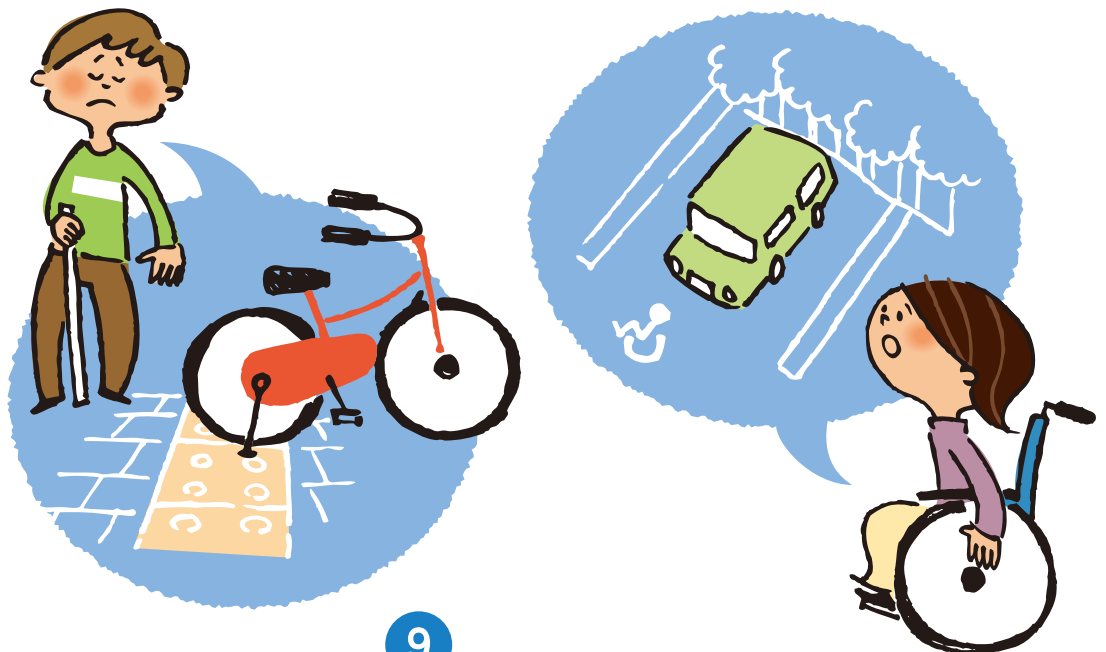
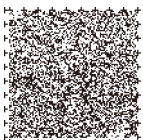
バスに乗るときにベビーカーを持つ。

## お年寄りへ



横断歩道を一緒に渡る。

わたしたちの何気ない行為が、他の人に迷惑をかけていないでしょうか?



## 5 ユニバーサル社会にするために



高齢化の進行等により、日常生活や社会生活の中で、さまざまなバリア（障壁）を感じる人が増えていくことが予想されます。

そのような社会に対応していくには、高齢者や障がいのある人が安心して生活できるよう既にある施設や設備等のバリアフリー化を進めていくだけでなく、更に社会の制度や仕組みも含めて、年齢、性別、国籍、障がいの有無等に関わりなく、はじめから、だれもが生活しやすい環境が整えられているユニバーサル社会（共生社会）の実現を目指していかなければなりません。

**なによりも、すべての人のためという「意識づくり」が大切です**

### 心のユニバーサルデザインを大切に

ユニバーサル社会の基礎となるのは、「こころのユニバーサルデザイン」です。

まちやものだけでなく、他人への思いやり、やさしい気持ちを行動に変えることができる「人」によってユニバーサル社会は構成されます。

大人はもちろん、未来を担う子どもたちが「こころのユニバーサルデザイン」を実践できるようになれば、だれもが暮らしやすいユニバーサル社会が実現します。



## 出前授業について

県では、ユニバーサルデザイン出前授業を実施しています。  
パワーポイントを使ったUDの説明、文房具のUD体験などを加え、車いす使用者や盲導犬ユーザーとのふれあいなども行います。  
詳しくは県地域福祉推進室までお問い合わせください。



## 出前授業の様子



この冊子に付いている  は何？

**SPコード**と言います。

SPコードは、紙に載せた印刷情報を、約2cm四方のデータコードに変換したものです。専用ソフトをインストールすれば、Microsoft Wordで簡単に作成することができ、1つのコード当たり、約800文字を格納することができます。

視覚障がい者用活字文書読上げ装置を使うことにより、コードの音声読上げができるため、活字文書からの情報入手が困難であった視覚障がい者に対する有効な情報提供手段(情報保障)として注目されており、自治体や金融機関が発行する印刷物や、病院の処方箋などにSPコードの添付が普及し始めています。

なお、コードの横の切込みは、コード位置を視覚障がい者に知らせるためのものです。

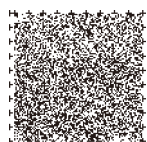


## ユニバーサルデザイン学習資料

平成20年3月発行

お問い合わせ先

大分県福祉保健部地域福祉推進室  
〒870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号  
電話 097-506-2622 FAX 097-506-1732  
e-mail a12030@pref.oita.lg.jp  
ホームページ <http://www.pref.oita.jp/12030/ud/>



表紙の大分県ユニバーサルデザインシンボルマークは、  
大分市の幸崎和美さんの作品です

この冊子は再生紙を使用しています。